

令和 5 年度相談支援従事者現任研修インターバル実地研修ガイダンス

（インターバル実地研修の目的）

インターバル実地研修の実施によって、相談支援専門員が基幹相談支援センターの役割を知り、顔見知りとなることで、研修後も地域のなかに相談できる場所があることを理解する。また、研修後も基幹相談支援センター等による相談支援専門員連絡会の定期的な開催、困難事例への相談・助言・事例検討会等への参加を通して、支援の向上並びに基幹相談支援センターを中心とした相談体制を構築する。

【インターバル実地研修①】

課題

○実践例の課題について基幹相談支援センター等から意見、助言等を受け、支援を実施する。

【方法】

- ①演習 1 日目の実践例(事前課題)報告を通して整理、抽出された支援課題について、自らの業務地域の別添インターバル実習連絡窓口一覧に連絡し、基幹相談支援センター等の担当者や地域の主任相談支援専門員との対面により意見、助言等を受ける。※【書式 1-①】、【書式 1-②】、【書式 6】の原本とコピーを持参すること。
 - ②意見、助言に基づき、対面により支援を実施する。
 - ③新たな気づき等を【書式 1-②】へ赤字にて追記、【書式 6】の下段に取組結果を記入。
 - ④【書式 6】を 1 月 18 日（木）までに事務局へ提出。
提出方法：電子データにて、事務局に提出。
(事務局メールアドレス：consultation@welfare.ehime.jp)
- 演習 2 日目の研修ではインターバル実地研修①の報告、意見交換を行います。
- ①インターバル期間中の取り組みの報告（報告時間 7 分の内 2 分程度）。

【インターバル実地研修②】

課題

- 自立支援協議会の体制や運営状況等を理解するため、協議会や部会等に参加する。
- 自らの業務地域の相談支援体制を理解するための調査を行う。

【目的】

- 地域の相談支援体制（基幹・委託・指定の役割や相談支援連絡会の開催状況、事例検討会の有無等）、自立支援協議会の体制（実情や課題など）を理解する。

【方法】

- ① 地域自立支援協議会に参加し、相談支援体制（基幹・委託・指定の役割や相談支援連絡会の開催状況、事例検討会の有無等）、自立支援協議会の体制を調査、整理するために、自らの業務地域の別添インターバル実習連絡窓口一覧の担当者に連絡し、調査内容について説明を受ける。※【書式 8】の原本とコピーを持参すること。
 - ② 新たな気づき等を【書式 2】や【書式 3】へ赤字にて追記、【書式 8】の下段（1 番下の欄除く）に分かったことを記入。
 - ③ 【書式 8】を 2 月 14 日（水）までに事務局へ提出。
提出方法：電子データにて、事務局に提出。
(事務局メールアドレス：consultation@welfare.ehime.jp)
- 演習 3 日目の研修ではインターバル実地研修②の報告、意見交換を行います。
- ①インターバル実地研修②の報告（約 4 分）。
 - ②【書式 8】下段の 1 番下の欄は、演習 3 日目に記載。